

平成 22 年度

事業報告書

財団法人 車両情報センター

## 概要

本財団は、車両競技に関する情報処理を担当する団体として、競輪関係団体との協調のもとに、業績の向上及び車両情報システムの経済性、安全性及び拡張性の確保を目指して同システムの開発及び運用事業を実施し、競輪の円滑な開催運営に寄与することに努めた。

システムの研究開発については、電話投票サービスについて、発売時間拡大へのシステム対応、KEIRIN.JPの改善等サービス向上を実現するための開発を実施した。また、競輪諸制度改正への対応として、重勝式投票受付システムの開発、深夜時間帯の競輪(ミッドナイト競輪)を実現するためのシステム改修等を実施した。

平成21年10月に稼働した次世代トータルゼータシステムについては、平成22年度末までに55拠点(競輪場27拠点、場外場28拠点)の移行が完了した。また、インターネット競輪動画配信サービスシステムについて、平成22年5月から、G以上の競輪で先行試験配信を行い、10月からは45競輪場の全開催を対象とする配信サービスを開始した。

なお、一部事業の実施にあたっては、(財)JKAの自転車等機械工業振興資金による「競輪の補助金」を受けて車両情報システムの研究開発を行った。

システムの運用管理については、競輪運営に必要な競技関連情報及び投票関連情報が円滑かつ確実に処理されるようシステムの信頼性及び安全性に留意した運用管理を行った。また、危機管理マニュアルに基づきシステム障害の未然防止及び障害発生時の迅速で的確な対応に努めたが、システム障害が多数発生し、お客様や関係者の皆様等に多大なご迷惑をおかけすることとなった。

また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、東日本を中心に全国的に直接・間接の未曾有の被害・影響を与えた。このため、同月12日から31日まで全国で競輪開催が中止され、本財団はシステム面及び運営面に対応するとともに、競輪再開に向けて関係団体と連携して検討を行った。

## 1. 事業運営

理事会及び評議員会を開催し、本財団の事業運営の重要事項について審議・決定するとともに、競輪を巡る諸情勢に適切に対応する事業運営を行った。また、車両情報システムの開発及び運用の事業を円滑に実施するため、必要に応じて関係団体で構成する会議を開催した。

なお、財団の事業運営に係る重要事項については、主務官庁等に届出等を行った。

[資料 1～3]

## 2. システムの研究開発

競輪関係団体によって企画されたサービス向上施策、新規事業・制度改正等に対応するため、新規システムの開発及び既存システムの改修を実施した。また、今後のシステム開発・運用管理に資する調査研究を行った。

### (1) サービス向上を目指した開発

#### ア. 発売時間拡大へのシステム対応

前日発売時間延長を目的としたほぼ 24 時間発売(システム切り替えや銀行との決済処理などの時間を除く。)を可能とする開発を実施した。平成 22 年 11 月 10 日から稼働させたが、実際のサービス開始は重勝式投票の発売に合わせて平成 23 年度中を予定している。

#### イ. KEIRIN.JP の改善

KEIRIN.JP を構成している競輪データプラザについて、機器を更新するとともに、利便性の向上及び新規のお客様の誘引を目指して魅力あるポータルサイトへリニューアルする開発を行った。なお、提供開始については平成 23 年 4 月を予定している。

#### ウ. 競輪ネットバンクシステムの精算処理の変更対応(受託開発)

サイクルテレホン事務センターの銀行決済業務における手数料軽減及びお客様の利便性を高めることを目的として、競輪ネットバンクシステムの精算処理の変更に対応する開発を実施した。一括精算処理については、1日1回から 1 か月 1 回へと変更し、平成 22 年 11 月 3 日に適用した。また、随時精算時にお

お客様が金額を指定できる機能については、同月 10 日に適用した。

エ. レース別賭式選択機能の開発

発売する賭式を開催又はレース単位で選択指定できる機能を開発し、平成 22 年 9 月 28 日から稼働させた。

(2) 新規事業・制度改正対応の開発

ア. 重勝式投票システムの開発

G 以上のグレードレースのみを対象としてキャリーオーバー金額を競輪場間で持ち越しできる重勝式投票システム及びそのポータルサイトを開発し、平成 22 年 11 月 10 日に稼働させた。ただし、重勝式投票の発売が平成 23 年度中に開始されることとなったことから、開始されるまでの期間は重勝式投票に関する情報を非表示としている。

イ. 深夜時間帯の競輪(ミッドナイト競輪)実施に向けたシステム対応

23 時台まで開催するミッドナイト競輪の実施に対応するシステム開発を行い、平成 23 年 1 月 12 日から稼働させた。

ウ. イーバンク銀行名称変更対応

平成 22 年 5 月 4 日に競輪ネットバンク銀行であるイーバンク銀行が楽天銀行へと商号を変更したことに伴い、表記を変更するための開発を実施し、平成 22 年 7 月 20 日に KEIRIN.JP に適用した。ただし、KEIRIN.JP on アプリについては 11 月 10 日に適用した。

エ. 花月園競輪場廃止に伴うシステム対応

平成 22 年 3 月 31 日をもって廃止となった花月園競輪場について、各システム上の表示を一部削除する対応をした。

オ. 会費制度変更対応(受託開発)

(社)日本競輪選手会からの受託により、平成 23 年度からの会費制度変更に対応するため、関連するシステムの改修を行った。開催管理システムは平成 23 年 3 月 29 日に、競技情報系システムは同月 31 日にそれぞれ適用した。

(3) 現行システムのフォローアップ

ア. 民間ポータルサイトの7賭式発売対応

民間ポータルサイトで発売している7賭式の票数集計等については、暫定的に場外場に設置されている通報中継機を経由して行っていたが、次世代トータルリゼータシステム(TZS)への移行後は、次世代TZSで7賭式の票数集計等がで

きるようにシステム改修を実施した。

#### イ．投票用携帯アプリの新規発売機種対応

KEIRIN.JP on アプリについては、NTT ドコモ携帯向け i アプリ及びソフトバンク携帯向け S! アプリを提供しているが、新規発売機種に対応するために、i アプリについては平成 22 年 6 月、9 月、12 月及び平成 23 年 3 月の計 4 回、S! アプリについては同年 3 月に動作確認試験を実施した。

#### ウ．インターネット投票システムの KEIRIN グランプリ 2010 対応

インターネット投票会員の更なる増加に対応し、投票が集中する KEIRIN グランプリ 2010 開催時に想定される最大アクセスに対しても安定した投票環境を提供できるようにするため、インターネット投票システムの負荷分散装置についてその設定を見直す改修を実施し、平成 22 年 12 月 1 日に適用した。

### (4) 調査研究

#### ア．次期車両情報システムの調査研究

車両情報システム(VIS)を構成する各システムのライフサイクルを考慮しつつ現行システムを評価し、最新の技術動向を踏まえて次期VISの調査研究を行った。

#### イ．映像集配信システムの調査研究

インターネット競輪動画配信サービスシステムと関連して、「競輪統合映像集配信ネットワーク(BRONSE)プロジェクト」を推進している競輪関係団体と連携して調査研究を行った。

#### ウ．女子ケイリン実施のために必要なシステム対応の調査研究

平成 24 年 7 月から実施することが決定された女子ケイリンの開催に向けて、システム対応について関係団体と連携して調査研究を行った。

## 3. 次世代車両情報システムの展開

競輪政策決定会議の決定を受けて次世代車両情報システムとして平成 21 年度に開発した「次世代トータルゼータシステム(TZS)」及び「インターネット競輪動画配信サービスシステム」について、各拠点のシステム移行等システムの展開を実施した。

〔資料4〕

## (1)次世代TZSの展開

### ア.次世代TZSへの移行

次世代TZSへの移行については、日程を調整しながら計画的に実施した。特に、在席投票端末やいわき平競輪場の大型映像装置等の特殊な機器との接続調整に配慮した。この結果、本年度は、45 拠点(競輪場 22 拠点、場外場 23 拠点)で移行作業が完了したが、このうち、本年度に初稼働した拠点は、41 拠点(競輪場 20 拠点、場外 21 拠点)である。平成 21 年度からの累計では、55 拠点(競輪場 27 拠点、場外場 28 拠点)が移行完了で、稼働場は 51 拠点(競輪場 25 拠点、場外 26 拠点)である。

一方、平成 23 年3月 11 日に発生した東日本大震災の影響で、当初同年3月に移行を予定していたサテライトかしまが延期となったが、その他の拠点については当初の予定どおり移行作業を実施した。

なお、同震災の影響から全国的に競輪開催が中止されたため、平成 23 年3月に移行作業を実施した武雄競輪場、伊東温泉競輪場、サテライト武雄、サテライトきもつきについては、年度内の稼働が見送られた。

[資料5]

### イ.追加機能・サービスの提供

前日・前々日発売機能及び拠点側でその時点における最新の売上額を閲覧できる売上速報サービス機能を 12 月 20 日から提供した。また、出走表作成機能については、出走表の様式が統一されたことに対応する改修を実施し、平成 23 年3月 31 日から提供した。さらに、次世代TZS投票系について多くの拠点から寄せられたシステムの改善要望に適宜対応した。

投票制御サーバについては、複数場対応機能を 8 月 31 日に実装した。

## (2)インターネット競輪動画配信サービスシステムの展開

「競輪統合映像集配信ネットワーク(BRONSE)プロジェクト」の一部として位置付けられるインターネット競輪動画配信サービスシステム(お客様向けサービス名称は「KEIRIN.JP ストリーム」)の主要機能(各場が制作するコンテンツの集信機能、ポータル機能、インターネットによる配信機能、KEIRIN.JP との連携機能)については、平成 21 年 8 月に開発が完了し、移行準備を進めてきた。

平成 22 年5月 3 日から佐世保競輪場と専用線で接続し、先行試験配信として、G 以上の開催及び佐世保競輪場の開催を中心にライブ配信を実施した。この間、オンデマンドコンテンツの登録作業も行われた。その後、本システムを(株)車両スポーツ映像が構築した「競輪映像集配信ネットワーク」と接続して全体接続試験及び運用調整を行い、平成 22 年 10 月 30 日から 45 競輪場の全開催を対象とした配信サービスを本格的に開始した。

## 4. システムの運用管理

競輪運営に必要な競技関連情報及び投票関連情報が円滑かつ確実に処理されるように車両情報システム(VIS)を構成する各システム、特に、次世代トータリゼータシステム(TZS)及びKEIRIN.JPストリームの信頼性及び安全性に留意した運用管理を行った。また、危機管理マニュアルに基づき障害の未然防止と障害発生時の迅速・適確な対応に努めたものの、本年度においては数多くのシステム障害が発生し、お客様及び関係者の皆様等に多大なご迷惑をおかけすることとなった。

### (1) システム運用管理

#### ア. VISの運用管理

次の業務に関する情報処理、機能提供等が円滑かつ確実に実施されるようVISの運用管理を行った。

#### 競技関連業務

全国の競輪場・場外車券売場、各関係団体等から競輪の開催に必要な各種情報を収集、蓄積、管理するとともに、開催運営に関する情報の提供を行った。

#### 投票関連業務

##### (ア) 場外発売における本場・場外間の通報業務

グレードレース(GP、GI、G、G)をはじめとする場外発売について、場外通報システム、専用場外システム、次世代TZS等を利用して本場・場外間の通報業務を行った。

通報システムを利用した場外発売の延日数は32,461日、対前年度比95.1%(うち場間場外の発売延べ日数は10,814日・対前年度比95.9%、独立場外の発売延日数は21,647日・対前年度比93.6%)であった。〔資料6〕

##### (イ) 電話投票

電話投票の加入者数は、平成23年3月末で322,759名(前年度末から12,291名増、104.0%)。うち、インターネット投票の加入者数は、231,847名(前年度末から23,561名増、111.3%)、ネットバンク会員数は177,485名(前年度末から27,187名増、118.1%)であった。〔資料7〕

##### (ウ) ナイター競輪及びミッドナイト競輪

ナイター競輪は10場で358日実施された。また、小倉競輪場において、本年度から賭式を制限するとともに7車立7レース制で、ミッドナイト競輪が開始され、6日間実施された。

#### 情報提供関連業務

関係団体、競輪場・場外車券売場、共同通信社、各専門紙、(株)車両スポーツ映像、電話投票会員、インターネット利用者等に対して、それぞれ各種情報を提供した。〔資料8〕

#### 次世代T Z S関連業務

次世代T Z Sは平成23年3月末までに51拠点(本場25拠点、場外場26拠点)において稼働したが、同システムを利用して、車券の発売・払戻の制御、票数集計その他付随する業務を実施した。〔資料5〕

また、ヤンググランプリ、KEIRINグランプリ2010において、次世代T Z Sにより初めて前日、前々日発売がそれぞれ実施された。

#### KEIRIN.JP関連業務

KEIRIN.JP(同 onアプリ、同ストリームを含む。)により、パソコン及び携帯電話によるインターネット投票の受付、関連サービス及び各種情報提供を行った。

#### イ. 次世代T Z S支援業務

次世代T Z S移行前に、各拠点の運用体制及び運用方法を検討するため、当該拠点の統制業務等の調査・確認を行った。また、移行に際して、接続試験時にはセンター側でリハーサル環境を設定し、試験・確認を支援した。

次世代T Z S移行後に、各拠点の運用支援を実施した。特に、次世代T Z S移行直後の発売時及び本場開催時には、当該拠点に出向いて運用支援を実施した。

#### ウ. KEIRIN.JP 及び電話投票支援業務

KEIRIN.JPを関係団体と連携して運営するとともに、コンテンツの作成支援、データ更新等を行った。

電話投票の音声応答システムについて、GP、G、G 開催期間中の電話回線数を増設する柔軟化対応を実施した。

動作確認を行った新機種を、KEIRIN.JP on アプリの対応機種として追加した。

#### エ. システム監視、データバックアップ等

総合監視システムを活用し、VISの稼働状況を的確に監視し、障害の早期発見に努めた。また、システム障害の未然防止及び障害発生時の復旧に活用するため、ログデータの収集、データのバックアップ等を実施した。

## (2)新稼働システムの運用管理

平成22年6月から新しい一斉同報システムを、同年10月からインターネット競輪動画配信サービスシステム「KEIRIN.JP ストリーム」をそれぞれ稼働させ、円滑な運用管理に努めた。また、平成22年10月から重勝式投票受付システムを稼働させ、円滑な運用管理に努めた。

## (3)システム障害の未然防止及び障害発生時の対応

### ア.システムの保守

VISの運用に万全を期すため、センター、競輪場等及び関係団体に設置した機器及びシステムの保守を行った。

### イ.リハーサル等の実施

G 以上の開催に際して、施行者、(財)日本自転車競技会及び現地トータリゼータ保守会社と連携を図りつつ、一斉リハーサル、前検リハーサルを実施した。

### ウ.システム障害対応訓練の実施

開発メーカー、運用委託会社等との連携のもとに、定期的にシステム障害対応訓練を実施した。また、施行者、現地トータリゼータ保守会社と協力し、グレードレース開催のリハーサルと併せて障害訓練を行った。

### エ.危機管理マニュアルに基づく対応等

危機管理マニュアルに基づき、システム障害の未然防止と、障害発生時の迅速・適確な対応に努めた。

### オ.システム障害

本年度は、多くの重大なシステム障害が発生し、お客様をはじめ、競輪場、場外車券売場、報道関係機関、各関係団体、経済産業省等にご迷惑をおかけすることとなった。 [資料9]

本財団は、システム障害に個別に復旧、再発防止など対応した。施行者、関係団体等から、特に障害への迅速・適確な対応及び各拠点等への情報提供等について問題点が指摘され、障害への迅速・的確な対応に向けて体制の強化、周知徹底を図るとともに、各拠点・関係団体に対して定期的に障害情報の提供を開始した。

これらのシステム障害の中で、次世代T.Z.Sに係る障害が件数も多く、影響も深刻であったことから、総合的なシステム点検を行った。システム点検は、開発メーカーの開発部門だけでなく、品質管理部門等の参画のもとに、設計点検、過去障害の再点検、次世代T.Z.Sの全場移行後を想定した性能検証、追加試験対策、作業ミス対策に関して実施し、結果については適宜、必要な対策を実施した。

(4) 東日本大震災対応

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災及び同月 12 日から 31 日までの競輪開催中止に対して、被災した及び影響を受けた競輪場・場外場の状況把握、計画停電への対応、競輪再開に向けての対応等を関係団体と連携して検討実施した。

(5) 品川マシン室設備環境の整備

開発メーカー、運用委託会社と協力し、定期的に品川マシン室の環境点検を行った。この結果、機器増設によりマシン室内の温度が従来より上昇していることが明らかとなったため、通気口付きフリーアクセス用床板を手配した。

また、開発機用 P D F (分電盤) が老朽化したため無停電設備に接続する P D F に更新し、機器の収容替えを行った。

(6) 講習会の開催

VISの概要、端末の操作に関する説明を行い、円滑な業務運営及び障害発生時の的確な運用対処に資することを目的として、施行者・場外設置者・(財)日本自転車競技会等の新任担当者を対象に、「通報系新任者講習会」を実施した。また、競輪情報検索システム(KISS)の利用促進を図るため、各地区別に「KISS講習会」を実施した。〔資料10〕

(7) 情報セキュリティ対策

個人情報データの取り扱いを厳格に行うとともに、VISへのアクセス制限等管理を徹底した。

また、前年度に実施したセキュリティ診断の結果を踏まえ、必要な対策を実施した。さらに、開発したシステムについては、適宜、必要なセキュリティ対策を実施した。

(8) 運用管理体制の整備

次世代 T Z S 移行場の増加、KEIRIN.JP ストリーム等新システムの稼働等により V I S の業務範囲が急激に拡大する一方、本年度は多くの障害が発生し、障害への迅速・適確な対応及び各拠点等への情報提供等について問題点が指摘された。特に、運用管理の構造的課題として、品川・市ヶ谷の二拠点体制となっていることも迅速な対応の上でネックになっていることから、システム運用部門の品川一元化について検討した。

## 5. 財団の運営管理

### (1) 危機管理委員会の開催

本財団の役職員で構成する危機管理委員会を計 14 回開催し、インターネット競輪動画配信サービス及びミッドナイト競輪の運用開始や障害事例を反映した危機管理マニュアルの見直しを行った。また、危機管理に関する対策の評価・検討等を行った。

### (2) 東日本大震災対応

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災及び同月 12 日から 31 日までの競輪開催中止に対して、被災した及び影響を受けた競輪場・場外場への対応等を関係団体と連携して検討実施した。

### (3) 評価委員会の開催

IT活用による情報提供充実のためのシステム開発の評価基準書の作成及び調達供給者の選定等を行うため、評価委員会を計7回開催した。〔資料 11〕

### (4) 規程の制定・改廃

公印取扱規程の制定及び職員給与規程等の改正を行った。〔資料 12〕

### (5) 職員の研修等

産業医、社会保険労務士、顧問弁護士及び本財団の参与による職員全体研修を実施した。また、希望する職員をパソコン用アプリ、労働法関連、情報システム等に関する外部研修に参加させた。〔資料 13〕

### (6) 公益法人制度改革への対応

制度改革に関する必要な情報収集を行うとともに、公益法人制度改革への対応案を検討した。

### (7) 補助事業の実施

(財)JK A から自転車等機械工業振興事業に関する補助事業として、補助金 527,236,000 円の交付決定を受けて、システム開発事業等を実施した。

〔資料 14〕

### (8) 調達業務の標準化

調達業務について、外部コンサルタントの協力を得て、透明性、公正性、競争性の確保、業務効率の向上の観点から現状の問題点を整理し、調達手続きの標

準化、体系化を図るとともに、関係規程の改正を行った。

(9) 職員数の推移

平成 23 年 3 月 31 日現在の職員数は 29 名であり、平成 21 年度末と比較して 2 名増加した。〔資料 15〕

## 理事会開催状況一覧表

回数	開催年月日	場所	議題及び報告事項
第1回	平成22年5月26日(水)	本財団会議室	<p>(議題)</p> <p>(1)平成21年度事業報告書(案)について</p> <p>(2)平成21年度収支決算書及び財産目録(案)について</p> <p>(3)平成22年度自転車等機械工業振興事業に関する補助金交付申請について</p> <p>(4)公印取扱規程の制定等について(案)</p> <p>(5)その他</p> <p>(報告)</p> <p>(1)平成22年度開発スケジュール(案)について</p> <p>(2)平成21年度経済産業省業務及び財産状況の検査について</p> <p>(3)障害報告等について</p> <p>(4)その他</p>
第2回	平成22年10月22日(金)	本財団会議室	<p>(議題)</p> <p>(1)評議員の委嘱に関する同意について</p> <p>(2)その他</p> <p>(報告)</p> <p>(1)平成22年度システムの研究開発及び次世代車両情報システムの展開に関する進捗状況について</p> <p>(2)その他</p>
第3回	平成23年3月23日(水)	本財団会議室	<p>(議題)</p> <p>(1)平成23年度事業計画書(案)について</p> <p>(2)平成23年度収支予算書(案)について</p> <p>(3)理事長、専務理事及び常務理事の互選について</p> <p>(4)事務局長の委嘱に関する同意について</p> <p>(5)その他</p> <p>(報告)</p> <p>(1)調達業務の標準化について</p> <p>(2)平成22年度システムの研究開発及び次世代車両情報システムの展開に関する進捗状況について</p> <p>(3)平成22年度のシステム障害について</p> <p>(4)東北地方太平洋沖地震へのシステム対応等について</p> <p>(5)その他</p>

## 評議員会開催状況一覧表

回数	開催年月日	場所	議題及び報告事項
第1回	平成22年5月26日(水)	本財団会議室	<p>(議題)</p> <p>(1)財団法人車両情報センター役員の選任について</p> <p>(2)その他</p> <p>(報告)</p> <p>(1)平成21年度事業報告書について</p> <p>(2)平成21年度収支決算書及び財産目録について</p> <p>(3)公印取扱規程の制定等について</p> <p>(4)平成22年度開発スケジュール(案)等について</p> <p>(5)その他</p>
第2回	平成23年3月23日(水)	本財団会議室	<p>(議題)</p> <p>(1)平成23年度事業計画書(案)について</p> <p>(2)平成23年度収支予算書(案)について</p> <p>(3)財団法人車両情報センター役員の選任について</p> <p>(4)その他</p> <p>(報告)</p> <p>(1)調達業務の標準化について</p> <p>(2)平成22年度のシステム障害について</p> <p>(3)東北地方太平洋沖地震へのシステム対応等について</p> <p>(4)その他</p>

# 役員及び評議員名簿

(平成22年度)

## 1. 役員

平成23年3月31日現在

役職	氏名	備考
理事長	阿部 毅一郎	財団法人日本自転車普及協会 会長
専務理事	上 金 孝 平	財団法人車両情報センター
常務理事	市 川 清 義	財団法人車両情報センター
理 事	平 柳 豊	財団法人JKA 理事
理 事	森 清 春	社団法人全国競輪施行者協議会 専務理事
理 事	森 一 起	財団法人日本自転車競技会 理事
理 事	藤 澤 一 就	財団法人日本棋院 棋士
理 事	南 波 幸 雄	産業技術大学院大学 教授
理 事	山 名 早 人	早稲田大学理工学術院 教授
理 事	小林 不二夫	財団法人日本情報処理開発協会 常務理事
監 事	吹 譯 正 憲	財団法人新機能素子研究開発協会 専務理事
監 事	池 田 弘	財団法人車両情報センター

(敬称略)

任期:平成23年3月31日

### (注)理事

奥村 康志氏 :平成22年5月31日付退任  
 武 晋一氏 :平成22年5月31日付退任  
 鈴木 茂樹氏 :平成22年5月31日付退任  
 平柳 豊氏 :平成22年6月1日付就任  
 森 清春氏 :平成22年6月1日付就任  
 小林 不二夫氏 :平成22年6月1日付就任

## 2. 評議員

平成23年3月31日現在

氏 名	備 考
伊 藤 修 一	一般社団法人共同通信社 常務理事
太 田 健一郎	社団法人科学技術と経済の会 常務理事
小 林 盾 夫	財団法人日本自転車競技会 会長
下 重 暁 子	財団法人JKA 会長
田 中 英 彦	情報セキュリティ大学院大学 教授
丁 野 朗	社団法人日本観光協会 常務理事・総合研究所長
中 村 一 巖	社団法人全国競輪施行者協議会 理事長
牧 野 力	財団法人日本情報処理開発協会 会長
安 田 浩	東京電機大学 教授

(敬称略)

任期 : 平成24年10月31日

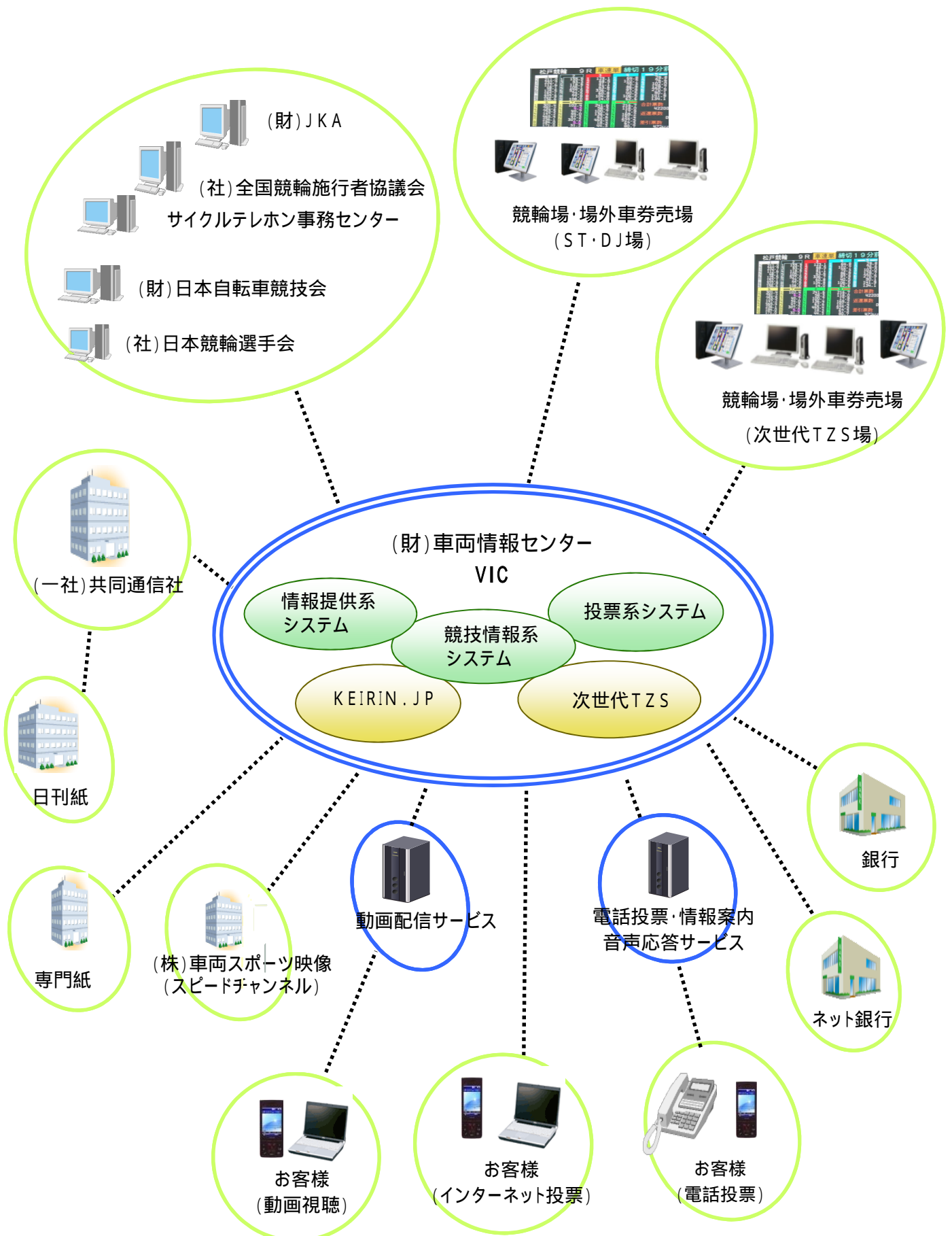
(注)

阿部 輝彦氏 :平成22年10月31日付退任  
 上條 史彦氏 :平成22年10月31日付退任  
 坂内 正夫氏 :平成22年10月31日付退任  
 山田 紘祥氏 :平成22年10月31日付退任  
 伊藤 修一氏 :平成22年11月1日付就任  
 田中 英彦氏 :平成22年11月1日付就任  
 丁野 朗氏 :平成22年11月1日付就任  
 安田 浩氏 :平成22年11月1日付就任

## 届出状況一覧表

届出日	届出事項
平成22年6月23日	理事の変更登記(東京法務局)
平成22年6月28日	理事の変更届出(経済産業大臣)
平成22年6月28日	平成22年度事業計画書及び収支予算書提出(経済産業大臣)
平成22年6月28日	平成21年度事業報告書並びに収支決算書及び財産目録等提出(経済産業大臣)

VIS構成概念図



## 次世代T Z S移行状況及び各種情報提供サービス利用状況(競輪場)

平成23年3月31日現在

項番	競輪場名	次世代T Z S移行前		次世代T Z S移行完了			備 考
		G / W (注1)		稼働日 (注2)	J S O (注3)	出走表 (注4)	
1	函館競輪場			H22.4.7			
2	青森競輪場						
3	いわき平競輪場			H22.6.24			
4	弥彦競輪場			H23.2.28			
5	前橋競輪場						
6	宇都宮競輪場			H22.11.3			
7	取手競輪場						
8	大宮競輪場						
9	西武園競輪場			H23.2.28			
10	立川競輪場			H21.11.11			
11	京王閣競輪場						H23.3.13移行完了。
12	松戸競輪場			H22.9.30			
13	千葉競輪場						
14	川崎競輪場			H23.2.28			
15	平塚競輪場			H23.1.14			
16	小田原競輪場			H23.1.31			
17	伊東温泉競輪場						H23.3.30移行完了。
18	静岡競輪場						
19	豊橋競輪場			H22.11.3			
20	名古屋競輪場			H22.12.1			
21	一宮競輪場						
22	岐阜競輪場			H22.8.31			
23	大垣競輪場			H22.8.31			
24	四日市競輪場						
25	松阪競輪場						
26	富山競輪場						
27	福井競輪場			H23.2.18			
	大津びわこ競輪場	( )					(H23年3月末をもって廃止。)
28	京都向日町競輪場						
29	奈良競輪場			H22.3.1			
30	和歌山競輪場			H23.3.31			
31	岸和田競輪場			H22.3.28			
32	玉野競輪場						
33	広島競輪場						
34	防府競輪場			H22.7.22			
35	高松競輪場						
36	観音寺競輪場						
37	小松島競輪場						
38	松山競輪場						

39	高知競輪場				H22.2.18			
40	小倉競輪場				H22.10.7			
41	久留米競輪場				H22.11.26			
42	武雄競輪場							H23.3.10移行完了。
43	佐世保競輪場				H22.3.1			
44	別府競輪場				H22.10.29			
45	熊本競輪場							
合 計		18	14	27		1	3	

(注1) 「G/W」とは、VIS情報提供サービスシステムを利用していることを意味する。

(注2) 「稼働日」とは、当該場において次世代TZSを利用し始めた日(多くの場合、開催の前検日)を意味する。  
平成22年度中に移行が完了したが、稼働しなかった場については、備考欄にその旨を記載した。

(注3) 「JSO」とは、VICが提供する次世代TZS静止画・音声サービスを利用していることを意味する。

(注4) 「出走表」とは、VICが提供する出走表サービスシステムを利用していることを意味する。

(注5) 印は、項目に該当することを意味する。

## 次世代T Z S移行状況及び各種情報提供サービス利用状況(場外車券売場)

平成23年3月31日現在

項番	場外車券売場名	次世代T Z S移行前			次世代T Z S移行完了			備 考
		D J 2 (注1)	非 S T (注2)	G / W (注3)	稼働日 (注4)	J S O (注5)	出走表 (注6)	
1	サテライト石狩				H22.4.20			
2	サテライト札幌				H23.2.24			
3	サテライト松風				H22.4.7			
4	藤崎場外							
5	前売サービスセンター							
6	サテライト六戸							
7	サテライト石鳥谷				H22.3.26			
8	サテライト大和				H23.1.21			
9	サテライト宮城							
10	サテライト六郷							
11	サテライト男鹿							
12	サテライト会津							
13	サテライト福島							
14	サテライトあだたら							
15	平場外				H22.6.30			
16	郡山場外				H22.6.24			
17	サテライトかしま							
18	サテライト水戸							
19	サテライトしおさい鹿島				H22.11.3			
20	館林場外							
21	利根西前売サービスセンター							
22	ラ・ピスタ新橋							
23	サテライト双葉				H23.3.31			
24	サテライト中越							
25	サテライト新潟							
26	サテライト妙高				H23.3.31			
27	サテライト鴨川							
28	サテライト市原							
29	サテライト船橋							
30	サテライト成田				H22.2.14			
31	サテライト横浜							
32	川越場外							
33	サテライト大阪							
34	サテライト阪神							
35	サテライト山陰				H23.1.21			
36	サテライト津山							
37	サテライト笠岡				H23.1.21			
38	サテライト山陽				H23.1.31			
39	駅前サービスセンター				H22.7.22			

40	国道前売サービスセンター									
41	江田場外									
42	サテライト鴨島									
43	サテライト南国						H22.1.26			
44	サテライト安田						H22.11.9			
45	二番町前売サービスセンター									
46	サテライトこまつ									
47	サテライト西予									
48	サテライト北九州									
49	ハイビジョンシアター門司						H22.10.7			
50	サテライト若松						H22.10.7			
51	サテライト久留米						H22.11.21			
52	サテライト武雄									H23.3.10移行完了。
53	サテライト長崎						H22.6.18			
54	サテライト宇佐						H22.10.29			
55	サテライト宮崎						H22.8.31			
56	サテライト三股						H21.11.16			
57	サテライト門川						H22.8.31			
58	サテライトみぞべ									
59	サテライト阿久根									
60	サテライト鹿児島						H21.11.16			
61	サテライトきもつき									H23.3.10移行完了。
合 計		33	19	14	18	28		5	4	

(注1) 「DJ2」とは、通報システム用機器が設置されていることを意味する。

(注2) 「非ST」とは、通報システム用機器が設置されていないことを意味する。

(注3) 「G/W」とは、VIS情報提供サービスシステムを利用していることを意味する。

(注4) 「稼働日」とは、当該場外場において次世代TZSを利用し始めた日(多くの場合、発券に係る開催の前検日)を意味する。なお、平成22年度中に移行が完了したが、稼働しなかった場については、備考欄にその旨を記載した。

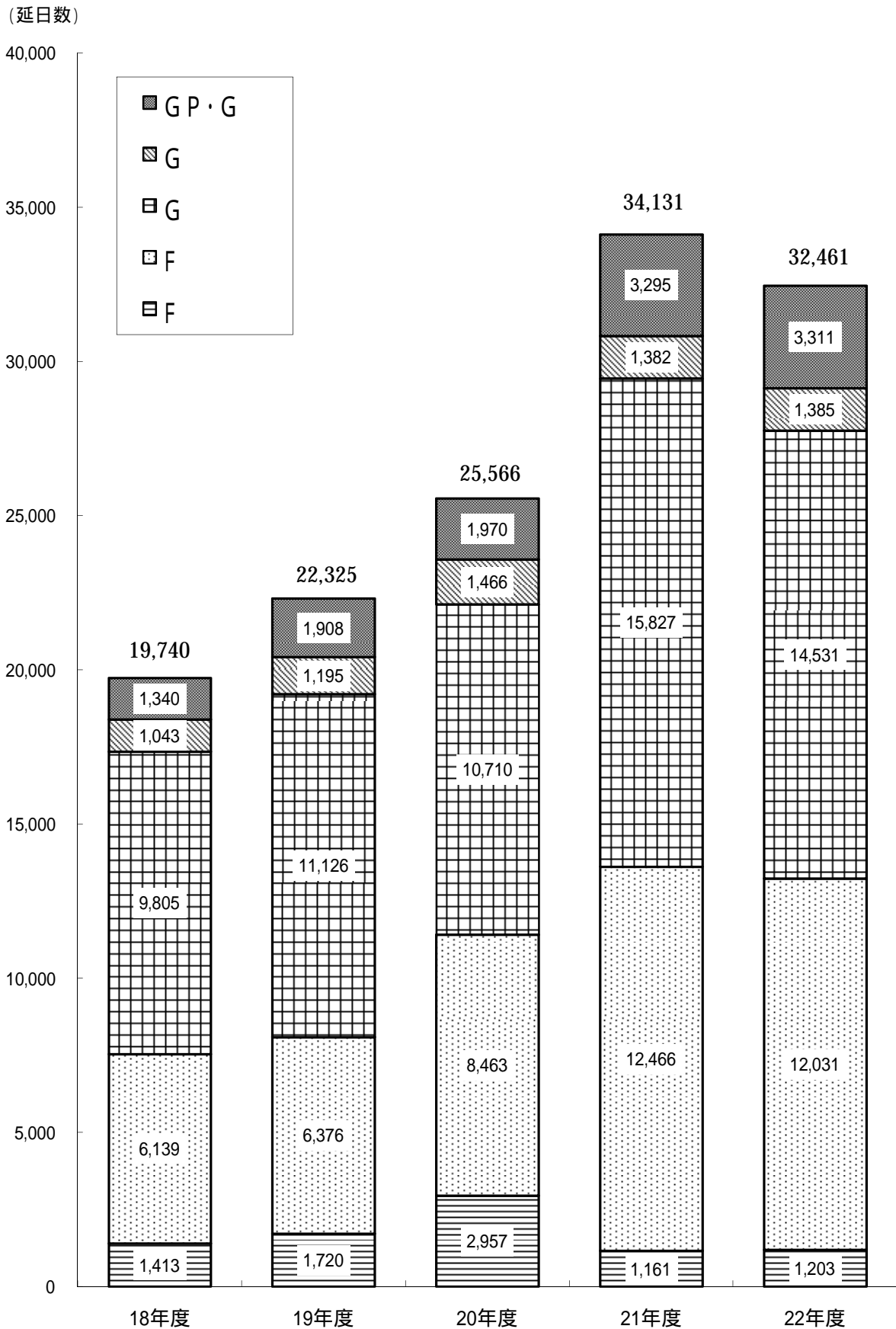
(注5) 「JSO」とは、VICが提供する次世代TZS静止画・音声サービスを利用していることを意味する。

(注6) 「出走表」とは、VICが提供する出走表サービスシステムを利用していることを意味する。

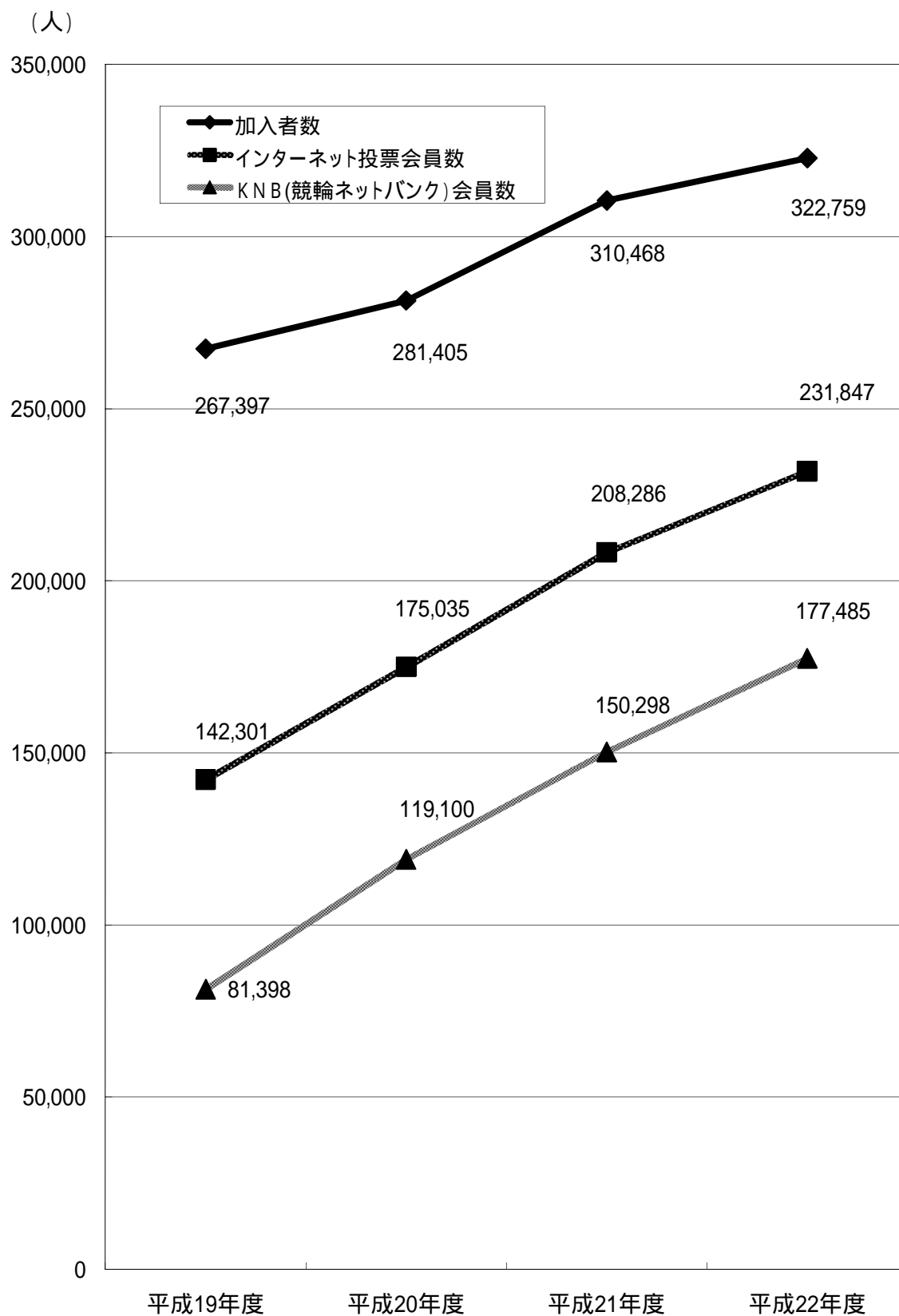
(注7) 印は、項目に該当することを意味する。

# 通報システム利用による場外実施状況

資料6



## 電話投票加入者の推移(各年度末)



## 情報提供業務の一覧

平成23年3月31日現在

提供先		内容	方法	備考
関係団体	(社)全国競輪施行者協議会、 (財)JK A、 (財)日本自転車競技会 等の関係団体	各種の情報	開催管理システム 競輪情報検索システム等	
競輪場 場外車券売場	競輪場及び場外 車券売場	各種の情報	VIS 情報提供サービスシステム 次世代T Z S 静止画・音声サービス 出走表作成サービス 売上速報サービス 競輪情報検索システム等	
報道機関等	共同通信社	発売情報 出走表 競走結果 売上 入場者数等	専用システム	重勝式の売上情報は FAX送信
競輪専門紙	競輪専門紙18社	出走表 競走結果 出場あっせん 選手等	専用システム	
競輪専門チャンネル	(株)車両スポーツ映像	各種競技情報	専用システム	
電話投票会員	電話投票会員	開催案内 払戻金	情報案内音声応答システム	24時間対応
インターネット利用者	インターネット利用者	出走表 競走結果 出場あっせん 選手等	KEIRIN.JP	
インターネット利用者	インターネット利用者	レース映像 出走表 競走結果等	KEIRIN.JPストリーム	

## 平成22年度に発生した主なシステム障害等

## 1. 次世代TZS

番号	障害発生日	競輪場等	障害内容・影響	原因・対応
1	5月2日	函館競輪場 岸和田競輪場 高知競輪場 佐世保競輪場	次世代TZSのセンター側で一括起動時に障害が発生し、早朝発売を予定していた次世代場において発売開始が30分～1時間遅延した。	考慮不足によりセンター側と拠点側との処理が競合した場合の回避策がとられてなかったため。暫定的に拠点側の作業開始を午前6時以降とする運用対処を行い、最終的にシステム改修を行った。
2	5月21日	サテライト成田	次世代TZSのセンター・拠点間の投票コンバート機能の障害により、サテライト成田における平塚ナイター競輪の前売発売が予定時間に開始できなかった。	開発メーカー(センター側・拠点側共通)の開発時の考慮不足により、開催施行者のコードが設定されてなかったため。当日中に適切なコード番号を入力し復旧した。
3	5月28日	岸和田競輪場 高知競輪場 佐世保競輪場	次世代TZSセンター側で一括起動時に障害が発生し、早朝発売を予定していた次世代場において発売開始が30分～1時間遅延した。	前日夜間に行われた投票制御サーバの増設作業時のミスにより、LANに通信異常が発生したため。システム再起動により復旧した。
4	9月26日	函館競輪場 サテライト宮崎 サテライト三股	次世代TZSのセンター側障害により、S宮崎・S三股における函館ナイター競輪の場外発売が中止となった。票数集計が遅れたことにより、函館競輪のレース発走時間も遅延した。	プログラム不具合により、現用系から待機系への系切替の際、データベースサーバがロックされた状態となったため。関連プログラムを改修した。
5	12月18日	名古屋競輪場	次世代TZSの現用系から待機系への系切替を契機として、名古屋競輪場における佐世保競輪G 場外発売の票数集計が遅延した。	22年9月に発生した障害(項番4)への対応でプログラムを改修したが、考慮不足があったため。再度、プログラム改修を行った。
6	12月21日	岸和田競輪場	和歌山競輪F の岸和田競輪場における早朝発売中に、発売した車券の減算・払戻ができないことが判明し、場外発売を中止した。	プログラムの不具合により、当該拠点で移行後の車券の発売が1000万件を超えた際の処理に誤りがあったため。プログラムを改修した。

## 2. インターネット投票

番号	障害発生日	競輪場等	障害内容	原因・対応
7	12月30日	岐阜競輪場 松阪競輪場	発走時間が9時台であった両競輪場の1Rについて、スピード投票等一部の投票方式を除き、携帯電話によるインターネット投票ができなかった。	プログラムの不具合により、9時台の締切時刻を認識できなかったため。プログラムを改修した。

## 3. KEIRIN.JPストリーム

番号	障害発生日	競輪場等	障害内容	原因・対応
8	10月30日、 31日	観音寺競輪場 他5場	30日に、KEIRIN.JPストリームのポータル部へ断続的にアクセスできない、アクセスしても表示の応答が遅い、エラーが表示される等の事象が生じた。31日に、携帯電話からアクセスしづらい等の事象が起きる場合があった。	KEIRIN.JPストリームのアクセス受付件数及び内部処理件数の設定に誤りがあったため。各件数の設定を仕様どおりに変更した。
9	12月11日	伊東温泉競輪場 他5場	オンデマンド映像の登録ができなかった。	データセンターが使用している回線で障害が発生したため及び同障害の関連でIPアドレスの管理システムの不具合が顕在化したため。データセンターが使用する通信回線を二重化するとともにIPアドレス管理システムの不具合を修正した。

## 4. その他

番号	発生日	競輪場等	内容	原因・対応
10	平成23年 1月17日	一宮競輪場	同競輪は中1日で前節・後節の開催となっていたが、前節を2度順延して2日目で開催打ち切りしようとしたところ、システム上の制約によりできなかった。また、VICから施行者への説明が適切に行われず、参加選手の帰郷が遅れる等の影響があった。	システム上の制約等について、施行者・競技会等に十分に説明するようにVIC内部で周知徹底した。

## 平成 22 年度通報系新任者講習会 実施状況

実施目的	各競輪場および独立場外の統制室において業務に携わる新任者に対し、VISの概要や端末操作に関する説明を実施することにより、VISに関する理解を深めてもらい円滑な業務運営及び障害発生時等の的確な運用対処に資する。	
講習内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. VISネットワークと機器説明</li> <li>2. VIS投票関連業務の流れ</li> <li>3. 情報サービスG/Wの概要</li> <li>4. 競技情報系システムの業務概要について</li> <li>5. 通報系システムの操作概要</li> <li>6. 次世代T Z Sについて</li> <li>7. 一斉同報システムの業務概要</li> <li>8. 異常開催について</li> <li>9. 前日発売について</li> <li>10. 質疑応答</li> </ol>	
実施日時	第1回	平成22年5月20日(木) 12:30~16:30(24名)
	第2回	平成22年5月24日(月) 12:30~16:30(17名)
	第3回	平成22年5月28日(金) 12:30~16:30(21名)
場 所	(財)車両情報センター 第1・第2会議室	
対 象 者	各競輪場統制室担当者・独立場外統制室担当者・投票業務を委託されている自転車競技会職員・投票業務を委託されているトータ保守員(原則1年未満の者)	
参 加 者	各施行者、競技会、独立場外担当者、トーターメーカー	

## 平成 22 年度「KISS システム地区別講習会」 実施状況

実施目的	競輪情報システム（KISS）の理解を深め、開催現場における KISS の利用促進を図るため、地区別に講習会を実施する。 開催現場でのデータベース検索からの帳票作成を定着化させることを目的とする。			
講習内容	1．本講習会の目的 2．開催日報 3．データベース検索 4．トータリゼータ帳票 5．演習問題（1～10） 6．質疑応答			
実施日 講習会場 参加人数 対象地区	7月7日（水） 10：30～17：30	東京	17名	北日本・関東・南関東地区
	7月11日（日） 10：30～17：30	高松	10名	中国地区・四国地区
	7月23日（金） 10：30～17：30	福岡	14名	中国地区・九州地区
	8月12日（木） 10：30～17：30	東京	16名	関東地区・北日本地区
	8月23日（月） 10：30～17：30	大阪	12名	近畿地区
	8月27日（木） 10：30～17：30	名古屋	16名	中部地区
	9月28日（火） 10：30～17：30	東京	18名	北日本・関東・南関東地区
対象者	施行者 KISS 担当者・自転車競技会統計調査担当者 全国競輪施行者協議会統計調査担当者・JKA 統計調査担当者			

## 評価委員会開催状況一覧表

回数	開催年月日	場所	議題
第1回	平成22年4月27日	本財団会議室	(議題) (1) 調達供給者の選定について (2) その他
第2回	平成22年6月16日	本財団会議室	(議題) (1) 「異機種システム融合化を実現する新システムの開発における調達業務の標準化業務」の入札・評価に係る評価方式・方針の決定について (2) 「異機種システム融合化を実現する新システムの開発(発売方式指定機能の提供)」の入札・評価に係る評価方式・方針について (3) 調達供給者の選定について (4) その他
第3回	平成22年7月5日	本財団会議室	(議題) (1) 「IT活用による情報提供充実のためのシステム開発(機器更新への対応及びリニューアル)」の入札・評価に係る評価方式・方針について (2) 「情報システムへのニーズ変更に対応するためのシステム開発(深夜時間帯でのサービス提供)」の入札・評価に係る評価方式・方針について (3) その他
第4回	平成22年7月23日	本財団会議室	(議題) (1) 「異機種システム融合化を実現する新システムの開発における調達業務の標準化業務」の評価基準書の作成及び調達供給者の選定について (2) 「異機種システム融合化を実現する新システムの開発(発売方式指定機能の提供)」の評価基準書の作成及び調達供給者の選定について (3) 「異機種システム融合化を実現する新システムの開発(発売方式指定機能の提供)[試験対応]」の評価基準書の作成及び調達供給者の選定について (4) その他

回数	開催年月日	場所	議題
第5回	平成22年8月11日	本財団会議室	<p>(議題)</p> <p>(1)「IT活用による情報提供充実のためのシステム開発(機器更新への対応及びリニューアル)」の評価基準書の作成及び調達供給者の選定について</p> <p>(2)「情報システムへのニーズ変更に対応するためのシステム開発(深夜時間帯でのサービス提供)&lt;競技情報系システム・競輪情報検索システム(KISS)&gt;」の評価基準書の作成及び調達供給者の選定について</p> <p>(3)「情報システムへのニーズ変更に対応するためのシステム開発(深夜時間帯でのサービス提供)&lt;KEIRIN.JPポータル(KDP)&gt;」の評価基準書の作成及び調達供給者の選定について</p> <p>(4)「情報システムへのニーズ変更に対応するためのシステム開発(深夜時間帯でのサービス提供)&lt;競輪ネットバンクシステム&gt;」の評価基準書の作成及び調達供給者の選定について</p> <p>(5)「情報システムへのニーズ変更に対応するためのシステム開発(深夜時間帯でのサービス提供)&lt;電話投票システム等&gt;」の評価基準書の作成及び調達供給者の選定について</p> <p>(6)「情報システムへのニーズ変更に対応するためのシステム開発(深夜時間帯でのサービス提供)&lt;試験対応&gt;」の評価基準書の作成及び調達供給者の選定について</p> <p>(7)「異機種システム融合化を実現する新システムの開発(民間ポータルサイトの融合化)」の入札・評価に係る評価方式・方針の決定について</p> <p>(8)「売上速報サービスシステムの提供開発」の入札・評価に係る評価方式・方針の決定について</p> <p>(9)その他</p>
第6回	平成22年12月1日	本財団会議室	<p>(議題)</p> <p>(1) 調達供給者の選定について</p> <p>(2) その他</p>
第7回	平成23年3月30日	本財団会議室	<p>(議題)</p> <p>(1) 電話投票システム、競技情報系システム、音声応答システム(ASPサービス)の調達について</p> <p>(2) 調達供給者の選定について</p> <p>(3) その他</p>

平成23年3月31日現在

## 評価委員会委員名簿

役職	氏名	備考
委員長	太田 健一郎	社団法人科学技術と経済の会 常務理事
委員	藤澤 一就	日本棋院 棋士
委員	小林 不二夫	財団法人日本情報処理開発協会 常務理事
委員	久能木 慶治	財団法人JKA 理事
委員	白仁田 洋介	財団法人JKA 企画グループ長
委員	森 清春	社団法人全国競輪施行者協議会 専務理事
委員	藤本 和成	社団法人全国競輪施行者協議会 常務理事
委員	森 一起	財団法人日本自転車競技会 理事
委員	青木 裕吉	財団法人日本自転車競技会 業務部長
委員	上金 孝平	財団法人車両情報センター 専務理事
委員	市川 清義	財団法人車両情報センター 常務理事 兼 事務局長
委員	浅川 一	財団法人車両情報センター 総務部長
委員	坂井 政夫	財団法人車両情報センター システム開発部長
委員	松下 俊成	財団法人車両情報センター システム運用部長
委員	久野 治人	財団法人車両情報センター システム開発部情報技術室長

## 規程の制定・改正について

番号	規程等の名称	主な内容	施行期日
1	公印取扱規程の制定	公印の取扱については、文書取扱規程第8章及び内規で定めているが、公印取扱の重要性に鑑み、公印の調製、登録、廃棄、使用及び保管に関する事項について新たに公印取扱規程を制定した。	平成22年5月26日
2	文書取扱規程の改正	文書取扱規程第8章に定める公印の取扱については、新たに公印取扱規程を定めるため、文書取扱規程について所要の改正を行った。	平成22年5月26日
3	旅費規程の改正	旅費規程第11条に定める日当及び第12条に定める宿泊料について、官民の支給実態に合わせるため、減額変更する改正を行った。	平成22年5月26日
4	職員給与規程の改正	職員給与規程第17条に定める住宅手当について、官民の支給実態に合わせるため、持家の世帯主及び非世帯主の住居手当を廃止する改正を行った。	平成22年5月26日

## 職員研修会開催状況一覧表

## 1. 職員研修

開催年月日	場所	受講者	研修内容
平成22年5月19日	本財団会議室	職員28名	産業医「労働衛生について」
平成22年6月24日	ニッショーホール	総務部1名	中小企業庁「人権に関する研修会議」
平成22年7月13日	日経セミナー	総務部1名	日経ビジネス「従業員の健康問題」
平成22年8月24日	日経セミナー	総務部1名	日経ビジネス「労働法の基礎知識」
平成22年8月24日	本財団会議室	職員26名	参与「動かないコンピュータ概論」
平成22年9月14日	本財団会議室	職員17名	特定社会保険労務士「メンタルヘルス」
平成22年10月14日～15日	茅場町	情報技術室 1名	IBM「ユーザー企業のための情報システム化企画」
平成22年10月27日～29日	茅場町	システム運用部 1名	IBM「コンピューター・システム入門」
平成22年11月11日	本財団会議室	職員23名	産業医「メンタルヘルスケアについて」
平成22年11月12日	本財団会議室	管理職6名	弁護士「労働法の基礎知識」
平成22年12月1日～3日	茅場町	システム開発部 1名	IBM「コンピューター・システム入門」
平成22年12月2日	箱崎	システム運用部 1名	IBM「情報システム運用管理入門」
平成23年1月13日	本財団会議室	職員24名	産業医「インフルエンザ対策について」
平成23年3月10日	本財団会議室	職員21名	産業医「花粉症の対策について」

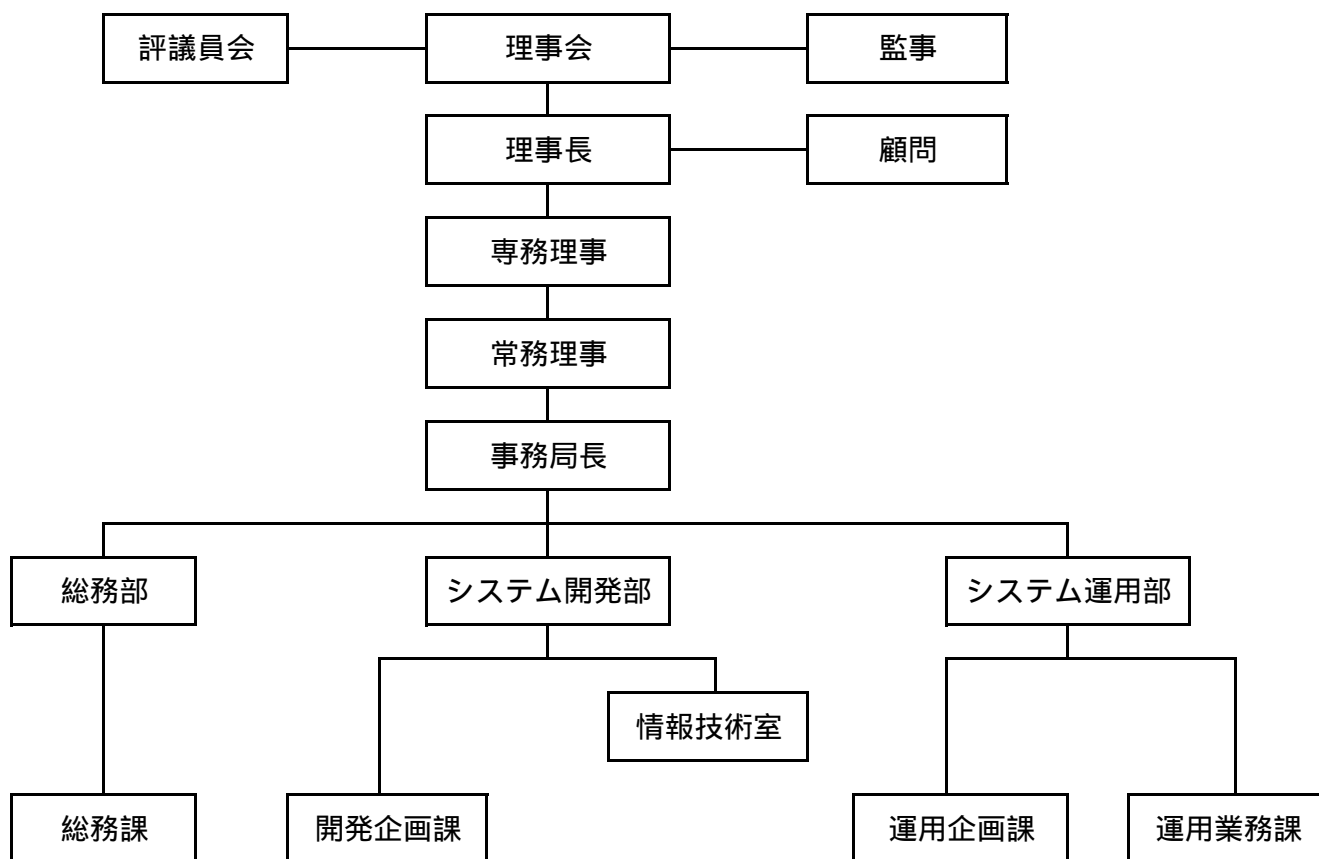
## 2. パソコン研修

開催年月日	場所	受講者	研修内容
平成22年5月7日から 平成23年3月25日まで  計7回	富士通エフ・ オー・エム  (各地区で実施)	職員7名	・Word2007: 応用 ・EXCEL2007: 応用 ・PowerPoint2007: 基礎、応用等

## 平成22年度補助事業開発一覧

	開発内容等	委託先
1. 異機種システム融合化を実現する新システムの開発	民間ポータルサイト融合化	富士通株式会社
	レース別賭式選択機能の提供	富士通株式会社、三菱電機株式会社、株式会社Iヌ・ティ・ティ・データ
	24時間発売に関わるVISシステム改修	富士通株式会社、三菱電機株式会社
	異機種システム融合化を実現する新システムの開発における調達業務の標準化	日本アイ・ビー・エム(株)
2. IT活用による情報提供充実のためのシステム開発	インターネット情報提供充実のための開発(機器更新への対応及びリニューアル)	富士通株式会社、三菱電機株式会社、株式会社Iヌ・ティ・ティ・データ データサイエンス株式会社
3. 情報システムへのニーズ変更に対応するためのシステム開発	情報システムへのニーズ変更に対応するためのシステム開発(深夜時間帯でのサービス提供)	富士通株式会社、三菱電機株式会社、株式会社Iヌ・ティ・ティ・データ

財団法人車両情報センター組織図



## 平成22年度末現在の職員数

(単位:人)

部 門	平成21年度末 現在の職員数	平成22年度末 現在の職員数	備 考
総 務 部	8	8	
システム開発部	10	12	
システム運用部	9	9	
合 計	27	29	